高松宮殿下

派大に御寄港

尊き御姿を拜し奉りて=

金瓷雕事件が頻設したので届「島縣生れ佐藤五六(二五)の「車で國都に名残りを惜中佐相馬癸八郎氏外五氏の現「調中のところ同官舎ボーイ福」土産を整へ、午後十一度を兼町書陸軍官舎十六號砲兵「出に接し附屬地憲兵分陰で取」附海地、城内にて滿淵

Ŧ

(大連國通) 録き御身を以て非常時日本海軍の第一線に立たせ給ふ高松宮殿下には目下

日滿官民恐懼感激

荒天風浪の中に親しく今期演習に御参加御書闘あらせられ、第一艦

不自由なる

る宮殿下の尊き御姿を旅大のの第一線に御奮闘あらせられ

將兵ご困苦を共に

ボーイの仕業

相馬中佐ら頻々盗難

「検分の代本路新京に向

新京谱午前九時二十七分 東站養午前九時十二分 東站養午前九時十二分

米陸上選手

と慎ましゃかに固き決心を語ー生懸命自重して飛ひます 一生懸命自重して飛ひます

として日英親善に貢献し又英知られ歸英後は日本協會理事した人でセンビル大佐として

のが航空界の恩人

センピル卿の快撃

心事正副所畏

珍 笑の王國大幹部

松竹樂劇花形

織宮

するといふ快ニュースーわが國航空界の恩人ロンドン商工會議所會頭センビル卿は 九月末單身飛行機にて英國を出資濠洲に飛翔、十一月末濠洲段愛機に搭乘してシン 英國商工會議所會頭が單身愛機に搭乘、國際親善飛行の壯國に上り滿洲國にも飛來 支那経由瀟洲國に飛來しその後日本をも訪れるはずである

に落伏してあるを發見、逮捕して 一日午後五時同宿の砲兵大尉 一日午後五時同宿の砲兵大尉 一時西子県武が入浴中を奇貨と

站間に左の通り軽油動車を運 東站間に運轉 東に今次「闇にこそ悪の花は開け」と五百ワットの投光器 十二個をズラリと江岸に並べ に警輸防止に養する事となり る等である

は体育聯盟、外交部、文教部、な教部 投光器で

航空路下檢分

大連發新京

五日午後二時より神戸海事協場に計られた待遇改善要求問題は計りされた待遇改善要求問題は計りされた待遇改善要求問題は計り 同會舘で委員會に於て勞賽双五日午後二時より神戸海事協 方協議を行つたが、商船側と の妥協成立せず同日は午後十 の妥協成立せず同日は午後十 で、二十六日再開を約して引 り、二十六日再開を約して引 總罷業を决行せ

高二十九隻、郵船百隻、近海 電出十九隻、郵船百隻、近海 であることになる筈である

領警管内料理店の

八月中の揚高

鐵管敷設支障 月水潭水源地工事 ことゝなつたが工事全体の完では鐵管の敷設に支障を來すでは鐵管の敷設に支障を來す 至つて二十七日午前十時を期表と會見の結果、午後三時に表と會見の結果、午後三時に 人に昭和三年以來の總罷業の

萬四千

木将軍の一米たるのであるが年を輝るに一十六日附で發令 「東京園通」柳と共に銀座名 物の一つとして知られて居る 新橋近くの六、七丁目の赤煉 瓦地は今国不粹な道路工事に より取り除かれ昔懐しい赤煉 人道もモダン銀座から淋しく

元智伯榮爵返上

は到底大

作二十六日午後三時半逝去し に入院加採中であつたが家人 の手厚い看襲の甲斐無く遠に の手厚い看襲の甲斐無く遠に

場大林組職工宿舎松山定治

出棺長春寺に於て執行の筈

日滿美術展へ お茶の會に

の一車で國都に名残りを惜しみつ 破損し機械の運轉が不能とな 取 財 地域内にて満洲色豐な 一部分は既に到藩してゐるも こ 三々伍々市中の見物に出かけ 阪の某鑛工所に注文し、その で 一部分は既に到藩してゐるも こ でと終へた米國陸上選手一行は 設する直縄十二吋の鐡管は大 電 でと終へた米國陸上選手一行は 設する直縄十二吋の鐡管は大 電

乃木將軍の後繼者 でも廿六日までに既に四百名に及んでゐる

昔懐し 道麥を消す

二十六日午後三時十五分ごろ大屯北方二支里趙家酒局子附近の高梁畑中に匪賊約三十名港町してあるとの報に接した

其後長春倉庫の専務等等

匪賊蟠居の報

警察廳討伐除急派

か木の整線を保つて元智伯としては の純真なる心から萎縛 の純真なる心から萎縛

皇妹三格姫

世内に問起野遊ばされ分職号 におかせられては、昨年十二 月一日職艦扶梁に御業艦あら はられてより、個不自由なる

あばれ廻る

劇文壇の熱血

兒 3

新劇界の女王 日活のスタ

部野生

繪靜光夢

薬捐金の募集が開始され、お水害に對して各方面で早くも

初音カフェ

水害義捐

日本橋通六二金鞭陽(二八)日本橋通六二金鞭陽(二八)は二十七日年前零時四十分ごろ説町十二 京署に届出で同署から井上刑 で取靜めたが荒れ廻るので新 で取靜めたが荒れ廻るので新

何れも出張 爾京は三十日午前七時の豫定 -公演十月二日、三日、

京日日新聞

新京局では内地(大阪地方) 風害地への 航空便注意

杭空郵便物は関

達は鐵道便を以て遞送する御 遠は鐵道便を以て遞送する御 宗教琵琶の

明朝西公園で

職出碑供養講並に市民早起會 主催の下に、明二十八日午前 前で皇軍慰問、忠魂慰靈の爲 宗教琵琶の家元江藤法絃師を 宗教琵琶の家元江藤法絃師を 宗教琵琶の家元江藤法絃師を 京教琵琶の家元江藤法絃師を

(土) 日九十二 月九

賽京新

第

季

毎日午前八時より午後人時編定料 普通三個 特別五個 特別五個 特別五個

すと人 無天地 に受験する骨相見の類に 大有り觸れたる高島性を 様する易者、石龍もがい 大有り觸れたる高島性を では、 大神に受験あり

海員組合ビ會社側

が遂に决裂

愈々けふ午前十時を期して

新京青年訓練所昭和九年度教 新京青年訓練所昭和九年度教 **声訓查閱** 七日西公園で (木) (金) (土) 日四 日五 日六 日七 部樂俱馬

11 100°CG に 100°CG 來る卅日に

所家族會

所では、 一方に、 一方に 一方に

御希望の方は左記

聯京大和通四七 新京永樂町(ダイヤ街) 東亞ホ 電話四九二七番

ツー ダンサー達は御來踏を御待ちして居り ンドニ しいジヤズもタンゴの 會

新京百名物干草人設 長春座衆山丁

慶應看護婦會 電話五六六九番

事務所舗 へ至急御照會下さ **援房完備** 水道瓦斯

田 商店

電話二九五七首

奪りの犯人機築に苦心いてゐる

ざいます。すぐお出下さいますよ

お迎ひの風騰も必つてをりま

を開けて中へ入つた。

満洲女

そらっ

京京

一夕町明神込動===大心愛

御好評で御座い

ます要う

するにうまい!

と云

ふ點が最も皆様のお気

に召したやうで

はらッ

洗つて御滿足

は

0

心地が一番 木綿沒裏 召して御機嫌

「ヘッ」を僕直助は翻かに殴け

が、捕縛された浪人は果たして が、捕縛された浪人は果たして

を曇らしたが、

「ウム」下十郎は、ちょつと随

花町の宿に願った。

田正十郎は際く味に入った

版新江* (禁上映)

行友李風點作

手出しするな

景。

斷然

正十郎以外の與力同心、或は御 彼の胸を埋めてゐる問題の核心に 入らうとするのである。

の方針をル剣に結ひつけてゐたが 一味の類と見て、何處までも襟索 その事までも忘れさせようとする を聞む、いたいほど聞んで襲ひか 折角節かに順目沈思しようとする さねに身を沈めぢつと瞼を合ぜ さすがに正十郎もやはらかなし (これではならない) と。正十

べき日争論注意

な音は絶えず沈に強ってくる。劇かな雨の夜である。しめやか (いけない、いけない、から眠る 甲と丙と丁が吉 のず分限を越ゆること**勿れ** 計畵の進捗する日幸運に見舞はれ

日と内 ひては輕器を慎しまるべし 一家の 軍任を負

その行覧をみつめると一匹の蜘蛛の行気をいると

恐らく消人者

▲印度 島 寄 港 ×印二三等船客設備船 門司、神戸(大阪行) 天元公安高於古山 進退に窮すべき日 君子危きに近寄 800









運動服各種新荷着 ータイシャツ

其他スポーツ服装多數な白セル長ズボン 別 山 パンツ

物に屈することを知らない正十郎

が這つてるた。正十郎はキチンと

また奪れた大金の行方を厳しく

々と行はれる犯罪は、いろくな

その時、順下に解めてゐたが、また冥目した。

がかりを與へた。

てるたが何等かそこに賊の通り

設戸の陸にひざまづいた。

『誰れだ?』

「まだ、お目ざめでございまし

羅津

煙

してゐた。その夜々の園所は選発の行はれる時刻は殆んど一

で、売湯十歳をはじめ配下一同

防々々に伏せてみたのである。

毎夜ここと思はれる

十古はゆくりなくそのあらまし







入舟町四丁目-

七ノヨ

電話呼出五九二八番

丸善礦油會祉 和 電話三四字 六六番

其グリ

各種植物油、 対 強 強 油、 下 グ 床 機 期 車 石 単 端 逆 用 油 油 油 油

宿

店理代 陸海軍鐵道省指定工場

產 親御 切实第參上

那煉瓦販賣

本郷でデリストーに本郷でデリストーに本郷でデリストーに

自慢の手打 洋室日本間の大学室日本橋通り六三日本橋通り六三日本橋通り六三日本橋通り六三日本間の

出前迅速 ż 大和通二十五番地 き丼物 生そばん 43

る品は地の利の關係上特に御

電話三四三正番

四



發賣數日に して非常な



市中各タ 15 7

店に有り

作人様以上の御宴會 にます!! 小鉢物色々 **段話ニセハ三番** ヤマトネテル裏

鍋料理 山門 家族的に御利用の程を…… 家族的に御利用の程を…… 閑靜で

ーピンポンプ 機械商原田組 水ポン 新京東二條通七八 五七番

ボン

黑龍江を挟み

極東五ヶ年計畫の進捗狀况

本年の生産計畫約一萬噸で 現在建設中であるが、一遍

改善を見るものと観られてする榮養糖分の供給は若干する榮養糖分の供給は若干

であるが本工場完成となってあるが本工場完成となった時、果して幾何の需要 のであるが本工場完成となった時、果して幾何の需要

まで、値をしてゐたんだらう。

来たら、店か に手を出したが になか。す

てゐた。媛麗へ行つて、今時分と

が、限まっ、日本人のお客は 彼等は第一に、特別なな をない。これでは、特別なな

金銭ひがきた

お客は、完全に

電話三〇四十番

を費つてある。しか

も相當に老網 メンスホール

全部完成せば年產量一萬五

(スラゼフカ

カンゼフカ」造船所

一葉四千二百六十五名、降一石ともなる各種資源の開發に一その幾許かは既に會社設立の七十九名、吉長吉敦線職客十一【大連國通】滿洲國發展の礎」は全面的に基礎調査が行はれ土餐業を二十六萬四千二百

資源開發の

關係課所統

が各關係課所に起り、早急にてゐたが、最近狀勢の推移に任ひ合理的統一の急務なる聯に至るべく 觀られ

改正の氣運に立至つたのでか各關係課所に起り、早急

軍役會議

海はの西川のの英

「スペスタ」には從來極め で小規模の傷式セメントエ で小規模の傷式セメントは 主さして日本及歐端より輸 主さして日本及歐端より輸 主さして日本及歐端より輸

大萬三千セントネルの製油 製油工塩でその能力年三萬 製油工塩でその能力年三萬

現在極東地方に於ては東子類缺乏し「コオペラチープ」類缺乏し「コオペラチープ」類缺乏し「コオペラチープ」類缺乏して財の配合に概念を以てして財験の範細胞を以てして財験者の関替工場で供給省の関替工場で供給省に本工場に動力し既に二百萬は本工場に對し既に二百萬は本工場に對し既に二百萬は本工場に對して居り、九

從來の極東地方に於る煉瓦

店のボスのボスの

教客ではない。

ったものは、

簡易宿泊所
城內東四馬路十八
公益旅舍

(9)製油工場 (ニコリスクート 有関線を生産し得るに至らしめると言ふしめると言ふ

(1) 「ピスケット」 工場である

大田 (14) 「アルチョム」第次 (14) 「アルチョム」 (17) 「アルチョム」 は「ウーゴ (17) 「アルチョム」 は「ウーゴ (17) 「アルチョム」 第次 (17) 「アルチョム」 第次 (17) 「アルチョム」 は「ウーゴ (17) 「アルチョム」 (17) 「アルチョム」 (17) 「アルチョム」 (17) 「アルチョム」 (17) 「アルチョム」 (17) 「成代の また (17) 「大田 (

されなご一介のボーイではない。この他に一覧側が出来るこの他に一覧側が出来るこの他に一覧側が出来るこのでもあった。と、大からんのまった。それは非際でもあった。と、大からんのでもあった。とれば非際に関しい、というなどを得つてある機でもあった。というなどを得つてある機でもあった。というなどを得つてある機でもあった。というなどを得かした。というなどを得かした。というなどが、一方、側でもあった。というなどが、一方、側でもあった。というなどが、一方、側でもあった。というなどが、一方、側でもあった。というなどが、一方、側が、一方、側でもあった。というなどが、一方の他にはないた。というなどは、大きなどの他にはないた。というなどは、ないというなどが、はないというなどが、ないというなどが、ないというなどが、ないというなどが、ないというなどが、ないというなどが、ないというなどが、ないというなどは、ないというなどはないというなどの他にはないというなどの他にはないというなどのではないというなどはないというなどのではないました。

ノカ」とは「ゼ・

自由企業促進の為

南滿工業會を設立

(金)日八廿月九

致,料度之本 会告课 所,特替第二部

ロロ女八人常激時代日日

最後の切

水源大柳 下 瀬 林 梅 竪子

新聞社

首都の玄關ロ 事變三周年を迎へ

夥しく殖えた薬降の人々 の大繁昌

本昭和七年度滿鐵乘客七十二 萬一千六名、降客五十三萬 七千九百八十九名、北鐵乘 名二十萬八千六百七名降客 五十四萬九千六百二十四名 五十四萬九千六百二十四名 五十四萬九千六百二十四名 五十四萬九千六百二十四名 ・ 大八十二名、京圖線乗客十九萬七千八十二名、京圖線乗客十九萬七千二百八十八名、降即ち六年度における満鏡線の乗客と八年度のそれと比較すれば殆ど倍加して三十七萬三九十名の増加、蒸鏡線の降る合計數においては約二倍半増加の降である而もこれは單に南端線の降である而もこれは單に南端線の降である而もこれは軍に南端線の降である而もこれは軍に南端線の降である而もこれは軍に南端線の降であるであるである。

學校その他公共團体の建物 学校での他公共團体の建物 学校の如きは實に危険千萬 学校の如きは實に危険千萬 中央の建設に全力を注いで あるので地方に手のまはら ないのも無理からんことで はあるがおそらく中央にあ るものは想像ができないで あるがその後の天候回復に よつてとり戻しをつけてあ るのでも、今満洲國は ではないできないで あるがその後の天候回復に よつてとり戻しをつけてあ ないのも無理からんことで はあるがおそのそのできないで あるがその後の天候回復に ないのでもかなり戻しをつけてあ ないのでもかなり戻しをつけてあ

禁河省下軍要地の營造物を視 禁河省下軍要地の營造物を視 は頗る廢壌 小泉需用處長談 一、總務部渉外係、地方部績總務部監理課の一部、商事部地竇課の一部、内鑛務係。計畫部業務課の一部、商事部地竇課の一部、府事部地竇課の一部、保鑛班、地震務群の一部、保鑛班、地方部績 關係八課所全部を包含す

むるといふ意見有力である

方面の觀測 風水害に金

世 見込みで會の事業としては企 域に到達してゐるが、就中鍼 微 での為外されてゐものである、尚闕東州は種々 を除く各係課所は七課所の多 いの為より見て一致せざる利害 岐に分屬せられ事務送行上幾 常 の為外されてゐものである。尚嗣東州は種々 を除く各係課所は七課所の多 に の為より見て一致せざる利害 岐に分屬せられ事務送行上幾 常 の為外されてゐものである あるが、現職制によると經調 を の為外されてゐものである あるが、現職制によると經調 を の為外されてゐものである あるが、現職制によると經調 る あるが、現職制によると經調 る の為外されてゐものである あるが、現職制に統制するの要 は 人しき間の縣案となり、來 こ るが、金融業者の観測を綜合 から多大の注目を拂はれて居 から多大の注目を拂はれて居 である関係上その蒙つた經濟なと共に、輸出貿易の中心地大阪地方は重要工業地帶であ

な数を調べると次のにおける最近三ヶ年

げふ創立總會を開催—

対応あると為し前途を比較的 であると為し前途を比較的 では寛大なる態度を持し、以 がは寛大なる態度を持し、以 である。 ので経済的復興に協力する方 思ひ出した。

人事だの非公然の は、つまり外

男女員多數御一報大祭会上 電五八五三番 あんま

中央通り岩間商會實石部 . し金

设合 新聞第一九四號 本学 九十銭 三五十銭

の方御來談下さい

三名入用御希望

サロン

町三丁目鮮銀横

女給募集

演主 喧旅 代 品作の後最享芳村野スンラシッサ ふルキフオネ

借

致シ度シ

ある

んま

ゥ

常話付曜二四三七番へ六七人合宿間斯付三〇圓風呂

電二四三七番へ

オー

ドトラツク

壹

メブルタイヤ

富士町三ノーミ

朝日タクシー

内フジ

店員 採用ス市内ニ保證人ヲ要スニ、必年事務見習十六、七才前後ニ、配達係内地人又ハ鮮ハニ、配達係内地人又ハ鮮ハニ、必年事務見習十六、七才前後ニュー、少年事務見習十六、七才前後ニュー・

二名名

被尾皮 事務維務身元 機用通り電三九三六

日本橋通 空町

商洋

や 八中 入用

港の彼女達=

Reserv

の記される 特別大興行 八日より 畫

十揚十五被三 強載行 履 曾日一行废行 指回一一

レ希

縣

タシ 左記 和 歌

希但り年 望市堅齢 者内實ニ

新京興安大路四一四

者は履歴書携帶本人來談あれ 門に保證人を要す 質なる日本人の方二名 新京日日新聞社 常五九八

易小 B 語 五融 五融 物

新京土地 附部開設

EN THE REPORT OF THE PARTY OF T dog and had be dog and the design and the contraction of the contracti

米部

ののののののののののの す

鳥あら 御 特別料理十品 難御酒 二合銚子 御宴會 ニ ト 人

我 電話二八〇九番

申込八電話五二九二(玉屋)新日本音樂家三一才男

八疊間位

一人樣以上 II. 00

は別したが、なほ一部の對 は対ること」なったが、改正 出すること」なったが、改正 として再折衝の上重役會に提 はすること」なったが、改正

之,築

100

である。 といふ仕掛なの に馴染の窓・はないのである。といふ仕掛なの に馴染の窓・はないの が しかし、この店には しかし、この店には しかし、この店には 掌の中の網路を強く引つ誤るのといふ位のものだっまり「其の筋」の旦那の姿の店の名前を白くつまり「其の筋」の旦那の姿の店の名前を白く

いであららっ

ツクボーイナ

りすぎる土地

の毛庸は、何んて幸福な奴だら

州間から聞くか、 はいまでも、同じないまでも、同じないまでも、同じないまでも、同じないないない。

飲力

第一案は應急處置として第二 第一案は應急處置として第二

が無性に鉄ましくなつて来た。 子を相手にして難つてゐた手唐だ。そして沙漠のでき店を通り抜ける時に、志摩 あたりで、小等に使は離路の端を握り作ら、さ シンガポールなり 思ってゐた。すると、その毛唐、を唆る變に老せてのガツチリとした偉大な懺格を一ではゆかずとも、「子香利ヨーー

をする小娘位の鮭である響だ。

タイセスト 核衛優秀な が 招 聘 おより三十

二十七日は五日間スケジュリルの膨大、キャストの華贅

自筆履歴書持多本人來談が事市内ニ確實ナル保証人ヲ有スルメ

近江印刷 四 五所

四、八根 以上

但十人線 五、〇〇上

●花の

女中二人 二合銚子

御料理九品 定合銚子 一合銚子

●月の

機構が改革されても

貴衆兩院の

心配の必要なし

佐々木 馨 野間口兼知 功三

召集決定の經緯

方針を決定するに至つた、政 面の暴風水害の甚大なるもの あるため遂に臨時議會召集の を表した。 で、政府は関西方

高園の剩餘金あるも之を責任 は現在教齊題急施設に使用し 得る第二豫備金は僅かに四百 であり千三百 であり千三百

支出する場合は來る通常議會 立て得ないと同時に臨時議會 立て得ないと同時に臨時議會

は通常議會へ譲るべきであるべきで表

こ充る策限

作電話回線 の延長は

後十時發撃天經由内地へ 定 定 定 を を を を と に 十七日午

るべきで米穀對策、2000条對策 九州四國其他養蠶窮乏地に限 北州四國其他養蠶窮乏地に限

(大連関通) 旅順官邸に潜在中の菱刈長官は機構改革問題 中の菱刈長官は機構改革問題 大場、日下兩周長、八田滿線 大場、日下兩周長、八田滿線 他官民多數の見逸りがあつた

臨議態度决定

菱刈長官

けふ歸京の途

本音谷大蔵氏(高洲関電子製) 以下五十五名二十七日午後 四時四十分第大連小ら 一十七日午後七陽東軍測量除長 一十七日午後七陽東軍測量除長 一十七日午後七陽東軍測量除長 一十七日午後七陽東軍測量除長 一十七日午後十一 一十十日午後十一 一十十日午後十一 一十分第六連八 一十十日午後十一 一十分第六連八 一十十日午春十一 一十分要時市へ 一十十日年春十一 一十分要時市へ 一十十日午前八時三 一十分要時市へ 一十十日午前八時三 一十分要時市へ 一十十日午前八時三 一十分要時市へ

るものでその主なるもの左に昭和八年三月末日迄の死に昭和八年三月末日迄の死に昭和八年三月末日迄の死に昭和八年三月末日迄の死にいる。

を爲さざる時は政府不信任の 意思表示も敢て辭すべきもの し、同黨今後の し、同黨今後の し、同黨今後の は議會の解散を より頗る注目されそゐる

躍進4

する電々

會社

大

通信網充實

いものがある

方密家屯に優勢

林部隊の鷹瀬部

野なる 庭賊百五山縣 半載河 東南 田縣 中畿 は二十五日 地景は二十五日 地景 東南 東南 田縣 中載河 東南

匪團を

るであらうと観られてのである、一般の觀測にのである、一般の觀測に

酸表された今回の

同業部事務官

周小野

川郎

滿洲

辭令

在滿機構改革問題に關し全補の金融組合理事佐野義臣氏は二十別組合理事佐野義臣氏は二十別組合理事佐野義臣氏は二十別日午前六時五十五分新京曜

ら開東 職を通じて相當な低 をいつたやうな政治的 をいったやうな政治的 をいったやうな政治的 はない今 を通じて相當な低

利養金と純質の補助をもければ金融組合にとつては大 和除されるやうなこと」な がは、 がされたり補助を破額又は は、 は、 がされたり補助を破額又は ないこと」な がは、 であるのでこの断を構が であるのでこの断を構が であるのでこの断を構が であるのでこの断を構が であるのでこの断を構

中村龜三郎

歸京の佐野全融組合理事談

匪賊脅迫狀

海事變論功行賞

海軍第二回發表

物質的

困

難解決で

満英の提携を期待

産業視察團ステー

イ炯により大要左の如きステ 時積衡に到着したイギリスの 時間で到着したイギリスの

質楽部事務官 毛利 富一質楽部最務司蘭務を命ず

本産業家に親善のメッセー

保してゐるが、將來益々澤保してゐるが、將來益々澤保してゐるが、將來益々澤保しての顧ひは或る二使節としての顧ひは或る二位節としての顧ひは或る二位方式。 我々滿洲國訪問である、之は滿英兩國協力に依つて始めて一世に貢獻する事である、之は滿英兩國協力に依つて始めて可能であり、

技正 體

肯山敬之助

實業部工商司動務を命ず 實業部工商司動務を命ず 高 県 高 県

(東京二十八日發國通至急報)二十八

臨時議會

或は解散迄進ま

政府對政友關係益す

結局満鐵の委任か 資金調達方法は満洲國々債を 買收後 日本市場で

要な準備が進められても営然補州 要な準備が進められつゝある 要な準備が進められつゝある 、滿娥の委任経營

会に、別個の會社による經營としては取散えず國營の方式を探るべきを理想として居るが満州國現には相當の困難が登想されるから結局減極の諒解の下にあから結局減極の諒解の下に

部理事官 林 丙 が務司勤務を命ず

岡田 秀夫 赤瀬川安彦 勉

關景 聘 中隊武装中隊武装

佐吉 英

實業部技佐 實業部技佐 智業部技佐 治一級藥部基 實業部技佐 治一級藥部基 實業部技佐 治一級藥部基 實業部技佐 永 右飛行計畫を發表した。其中官ジョンソン少將は二十七日 官吏が義捐 は未だ政府より は未だ政府より が明瞭でないの が明瞭でないの

同の政府支持有力

新黨樹立

せ

次官會議で決定

サンフランシスコ、ハワイ間」せ全國の官廳に通道し【サンチャゴ廿六日愛國通】 として災害地に送る事

として災害地に送る事に申合 官以上の全國官吏全部が俸給 官以上の全國官吏全部が俸給 をして災害地に送る事に申合 様な反政府態度派有力で臨時間

の提携問題が 草市に匪 警 で、之を機會に関同は政府支持

臨時議會召集

ふ閣議で正式决定

約三百名來獎、 約三百名來獎、 動擊退 一十名あるを知り出動午後入時 「質腫團と遭遇し激融一時間に 及ひ敵に全滅的打撃を興へこ れを潰走せしめたが此の歌興 に於て我が軍の損害は即死一 等兵水谷喜助氏、同武藤武彦 氏、薫傷少尉廣瀾富維氏一等 兵田中勝氏、同上等兵大野重 雄氏、同上等兵機関吉五郎氏 が正太郎氏、同上等兵大野重

た。因に燒失家 動車警備隊が急 し山城鎭より警 戸の見込みなる

廣瀬部 徐向前の共産軍 四川中央部 進擊

北部に著居する徐向前の共産 北部に著居する徐向前の共産 北部に著居する徐向前の共産 まれば共産部歐主力は四川中央部に向けて まれば更に南江、通江の隋幕に は掃鹿軍と苦酸中の劉和は大 いに狼狽、急遽軍慶平急帰距軍事 である。開江にあつて は掃鹿軍と苦酸中の劉和は大 いに狼狽、急遽軍慶平急帰距軍事 である。

早まつては仕損ずるよくよく 往來

贈りない。第一

油性

カベ塗料

1000円の

性

4

塗

料

皮肉ではなく、

悲壯といふべきだが……警官家族の引揚げ準備、真に

各地市場

Kexxexxexxexxexxexxexxexxexxexxex

八島通り橋詰

按と肉……と、丁

鑑修氏の挟

第一回 完集公司 大連上海向 大連煙台向 教授 教授 教授 教授

66るもの 68名もの

况、滿別文化史を、第二回を迎へて

その

B

現

建築用タイル

一十七日より七日間

洗面器便器類

場所

西公園前

材用築建

返り討だとばかり嚴重鬱戒中附し乍らも萬一を慮り寄らば

民政黨や床次派で提携か

済むもの

臨時顕會に政府 なりどの程度の案 が関と内容と

電局の意向では國ので、窮乏農村の救褥策としる か其範圍と内容と 冷害蠶絲等の應急對策と對滿 か其範圍と内容と 冷害蠶絲等の應急對策と對滿 を一方面の監時調會が風水客早害 を一方面の監時調會が風水客早害 を一方面の監時調會が風水客早害 を一方面の監時調音が風水客早害 を一方面の監時調音が風水客早害 費、小學校見童の給 の給食費、學 の給食費、學 の給食物、 個四 の の の は 各種低

大蔵は極力切詰め の方針 五三 農村土木事業には相當經

民政黨

三人

員整

提出

四

一豫算案

新京市况 洋 美 美 洗 ーアユキニマ 附 着 和 歌 京 大和 = 九

豆

小

どうぞよろしく

富士町三丁

目

靜 美代子 歌子

より美妓連行前同樣御引立の程を願ひます な座敷優雅な朝鮮料理お馴染の料亭日 落 子 0

綠子

11

建大投賣。

同南滿南滿同滿滿日滿大同東東滿滿大 兩滿滿滿洲 湖洲滿蒙連 亞亞洲洲連 鐵を緩麥 製工厂架機 煙土興土郊 新道メ業酒新粉殿ル業被新草木 シート

たが更に全警部補は三十日変刈長官と會見意志を披瀝

に減鐵側と荷物の輸 げるので各署ともこ

滿警察官家族

席、西山文歓部總務司長の

鑑出局

0

業務監查

になつてゐる、問刑日には空一般建築材料を展覧すること

尚州日には年

灰かせ午後四時過ぎ散會した

側も一部撤回せる事代に就で會社側考慮

海員協會

けふ鐡道事務所を訪れて

も引揚の準備

在滿機構問題はその後ますます紛糾を來たし關東廳警察署員間 には 早くも家

照 興車 運轉方を 交渉

(練戸國連) 明暗二相を見せ

成る

して急轉直下

船主の妥協

京圖線小姑家へ

連絡列車復

一會で議題に 族の內地引揚げ策まで講じつゝある模様であり、二十八日午前十一時どろ新 を極秘裡に依賴し運賃等の問合せをした 時未定)新京及び沿線各地警察署員家族若干名 の輸送の ため臨時列車運轉方 京警察署某警部補、某巡査部長の二名は新 京鐵 道事務所營業係を訪れ後日(日

注目される成りゆき に その 議題 として 注目されて るのは 家族 引揚決行である 同一 議題 として 注目されて る 間 と訓し代表者との會見を終つ と訓し代表者との會見を終つ たが、續いて大府間に居並ぶ 百余名の警官に對して

は諸君だから充分自軍する 述べ同二十五分會見を終つ

充分考慮の上 善處する

居留民の信頼

絶對裏切るな

菱刈長官代表に訓戒

意に解釋してこれに善處す

官動が意外な結果を齎すや一遂行せよ、この際一寸した

【大連関通】警官代表と會見 を終へた変刈長官は二十七日 午後四時三十分記者関を引見 して語る いてくれるのもこう云ふ時でまる以上男だもの相當の決意を持つて來た事は明瞭だ、を持つて來た事は明瞭だ、を持つて來た事は明瞭だ、

首都警察廳では天然痘患者職 防のため十月一日から十日ま で左記の通り種痘を實施する 南大街(新都分醫院)東三 道街(純壊産科院)西三道 種痘を質施 一日から十日まで 會場の商業學校講堂ではな

郷總理、饗熈氏などの書など諸伯二十氏の皇帝献上品並に

△二十八日 午後二時、美術りである 股入選者座談 正午陳宮內府大臣 午後六時炎刈大 絕大の期待を受ぐる

新與探奇派劇團公演

團体觀覽豫約の申込殺到

本社催し

到る處で歡迎攻め

昨夜け鄭委員長の招待會

秋宵いども和かに

上とも幾重にも宜しくお

満日文化協會副會長岡部子僧 は三十日午後六時三十分から 満州國およひ日本側の各首脳 満外國および日本側の各首脳

本京以来額ぶ間もなく各方面 を が、同美術展委員長鄭徳理は が、同美術展委員長鄭徳理は

(化酸展のために東奔西走し

に骨組は出來たが、これか べ和氣器々種に八時三十分散であり肉であるわけだ、既 子僧一行を代表して謝辭を述であり、文化美術は人の皮 て挨拶し、これに對して岡部であり、文化美術は人の身体に ひする

-素晴らしい好人氣に=

水野さん大喜び

気で、日満大官連を始めて 東二兩會場とも業晴らし

として多大の人類を博

は先頃來チ、ハル方面の皇田晴夫君等純情高揚の演劇

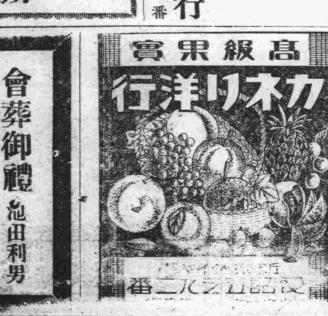
西

アンを唸らした宮部部子鍛オーセンス劇の第一人者林覧君元 優寺島雄作君、松竹キネマで 夫君、スマートなコーモア俳 追る!

活斷卅日限り らしい経況を見せるで

的となり、その日の來るを特となり、その日の來るを特望のころ、果然新京人より特望のとれて、三の兩夜長春座で 電の子終樂後直ちに断行する をこの本社主催の新興探奇喇 ち兼ねられてゐる、 水らく懸案となつてゐた改築 司法代書人 術 (但日本人ニ限ル) 永樂町二丁目二

元札幌地方裁判所構內 民刑訴訟其他一般代書 八卷代書事務所 電話二五四四番



風害地から 市民へ返電

新京地方事務所長殿 - 神戸市長 - 勝田銀次郎

御鄭重なる御見舞に接し御新京地方事務所長殿

御悪電を謝す

市長

満洲國体育大會の

幕愈け

ふ開ノ

開會式

に次い

で競技を開始

野して大阪、神戸兩市長から 宛見舞電を打つたが、これに 宛見舞電を打つたが、これに 返電が二十七日届いた

撃大會を開催した 憲兵さん

一投宿した、一行は同日正午朝から陸上協會の招待で食遺園から陸上協會の招待で食遺園が、更に午後歌迎午餐會にのぞみ午後五時、歌迎午餐會にのぞみ午後五時、歌迎午餐會にのぞみ午後五時、歌迎午餐會にのぞみ午後五時

實結

古跡保存 當局調查命令

を開催する事になつた、偶優的計算のでは、おり十月一日までの三日間司令

置記念事業として、廿九日よ務州建築協會では新京分會設

けふの銀相場

出前迅速!!

試御 立

まめ始をうぢんまたぶんでお

御 優美 祝町二丁目太子堂横 百 輕快一 御一報次第店員参上 廉價!

確實なる修理ニ安全に 取揃へてあります 親切叮嚀迅速

引越 其他一 般運搬左官大工苦力塗工 時 荷 **人和洋行便利部**

話 三七〇五番 三七〇四番 ラ一致 直御 顕度シニ申 と 御み 御込 マ用ス 何次

焚事場煖房 修新 替計理設 速叮嚀ニ御用命ニ應ジマ ハ何デモ大小ニ拘ラズ迅

家具建具窓棚 園風 呂 日常御住居ニ關スル仕事

宅模樣 便利 屋開設

會 街 電木 2

骨性相 ・ 性相 ・ 性相 ・ 性相 講懇御 人演親宴 會會會

會 會

に茶縣園座 新御話人碁談 試麻 九七九番

新京鐵路局では左記により來 月二日から九日まで入日間に 百り第一国一般業務監査を施 行する、二日東站、三日薪京 吉林間(新京を除く)四日吉 建計畫科長)及防空と都市計畫(溝が置 體(鳥田中佐)其他知名士の

傷害海線は追つて施行の豫定へ朝陽川を除くン人日朝陽川を除くと入日朝開線・ 人日第五十二列車で降京なほれ日第五十二列車で降京なほ 除く)六日敦化朝陽川間(敦河をく)五日蛟河敦化間(蛟河を 尉ゼ、ワーパートン氏は満洲駐日英國大使館附武官航空大 英航空大尉 滿洲國視祭

國観察のため、飛行機で京城 薬天품直に英國領事館を訪ひ サ入日午前十時率天發新京列 音の豫定である

年後四時半頭列車で赴任 大、新支社長佐藤武雄氏は二十八日更任挨拶に来社した、 田に南里前支社長は二十九日 日本の時半頭列車で赴任 滿洲日報支社長 更任の挨拶 日催開

一寸 と人 馬天 地 限 一寸 と人 馬天 地 限 一寸 と人 馬天 地 限 張 大地 限 張 大地 限 張 大地 限 張 美 大地 限 張 大地 取 の名を 短する 骨相見の 類に の名を 短する 骨相見の 類に からず

第 季

京圏線新京、小姑家間通絡列中であつたが漸く復選したの中であつたが漸く復選したの

一 から運轉を閉始する、なほ愛 一 から運轉を閉始する、なほ愛

一日から運轉

(土) 日九十二(日) 日十三 (月)日

万酸的中の指導

(木)(金)(土) 四五六七 部樂俱馬賽京新

> 場所吉野町北浦旅館內 三十日限

1

當店獨特の

新潟縣青年團員

は早朝から市内外各方面を観察上屋旅館に投宿、二十八日を出屋旅館に投宿、二十八日本の一行は二十七日午

風災義捐金四十圓を集め

けふ本社へ持参

世生の美學

▲東二條通四七飲食店姉川茂 年後四時の間自宅二階三疊の 間で洋服ポケットに入れてあ つた二ッ折茶色皮製財布一個 在中現金二十圓を何者かに い でされた

建築協會主催で

建設展覽會

計正 二十七日附紙上村上 条太郎氏への義捐金氏名中四 条廣吉郎とあるは小澤禎吉郎

御一報次第

電話五四九

八番

辯護士 判 勳正 六七 等位 引地寅治郎

電話 五九五十 0 Tel.



人年中の米川杉作、今青川者かの一に即何にも、その許のいふ通り

としたと見え、ほしき物音にはつとしたと見え、ほしき物音にはつ

手に奪はれた」

「なっほど」

日本三行

"えグ、 うばはれましてござい

作の身に何か顕微でもございまし

ひわりく我慢をいたしてをりま

專屬荷扱所。

そ

れて…親切叮嚀

協版

新京澤前羽衣町一

宿

ンフィリストピューロ沿線主要各牌及各地ジ

斷然

梅枝町亭日

正十郎は何歌か不肯を楽期して

聞いては、さすがに顔色を動かし

の耳に入れねばならぬ陸郷出来い

際夜大儀である。早速そこ許

めながら様を進めた。

一奇怪至極な話でございます。

・八白の人

正十郎は癒七の口の働きを見話

アウム、何と申しました

機械守は正十郎の入るのを待つ

であるでございます? | 氷地紋 | たので。これではならぬと、殴を正土脈は落底して挨拶すると。 | が今し方不明職に服領を養えまし

下司、神戶(大阪行) 門司、神戶(大阪行) 門司、神戶(大阪行)

電話五六六

をつけてるたと申します。 存じるる質でござるから、十分心 宇宙も大事な囚人の儀はよくよく

ところ

巳と辛と癸が吉

●九紫の人

七ず油断なければ平安の日 上端の事も蔑視

吉原娼妓

(禁上級) 行友李風隱作 れがしてございました。その時に 鏡銀平他二氏意

1 85 - N

版新江

八次

景。

現代科學の精體

ば

た

沃素療法

正十部は十つ着替へをして出て そして間もなく南町南行立川陽 帰は二挺、膨をそろへて雨中 同役一同願いて駈けつけました形 もはや流げ失せたあととて、早速 れから四クまでの間に祀ったこと は何等の異要もこざりませず。 ●一白の人 萬事遅滯多く無理をすれば更に大失敗あり申と亥と丑が吉中と亥と丑が吉安れば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんなれば一段の幸慶を招かんない。

を定った。

版守屋敷へ着いた0

案内に從つて入ると、主院肢守

のでございます」

牢蓄は生ける配色もなく斯う申す

村の同心陳名、額をあつめて

●四線の人 細事にも気を緩 ●七赤の人 る程の用心あれば過誤無し 業に乗れば破財失策を生ず も忽ち晴々とするが如き日 石橋を叩きて渡 輕々しく人の言 一時暗雲を催す

を却け實直なれば青日たり 野望を去り虚榮

氣持よくひえ 梅毒を排除する

最新沃素劑

其グ床歴鐵車石 リ掃線選載 1用油油油油 他ス油油油油

店理代 陸海軍鐵道省指定工場 丸善礦油會社

電話三四六六番

東京気かをはい 料亭 京东合体的 一个时期神込的

ボン

中央通三六番地 電話三三四

春醫院

岩間志津

新面切分パコ
(市中各タバコ店に有り) 品需必の庭家御代時新 も最てしまひ用に等ダラサ・ラブ天・イラフ すまりあで品料食業祭舎良

京了不断老

流

秋

空

輝

ク

大

傑

作

東海林太郎

11100

機械商原田組織所 條通七八

入院隨意

電話 三八三四番 の御用は

雙發 行

時計貴金屬修理 金銀地金賣買 (御報祭

上

五五七三番

の者の身にはもとより厳重な見 「今一度その模様を話て見よ」 「何とる遺憾の機にございます 線七は正十郎の方に向き直 期間な仕儀になりましたこ

でこざいます」

中国山田

薬用外れゞた。 うそんか

親御

切報次第多上

内山るに

を洋の番行

「されば今一刻あまり前」 と、陽餃守は同心の一人郷山徳

て、酸をよせて見ると、大事の囚 つたものと聞えます。 ただ夢のようだとばかり、矢襲脈 人が影も形もないと、から中すの 子もひたと閉ちて、相牢の者がし 「されば、これも作者と同様、 なおかれる

います。しかも何の姿も見えなん つけられた、と年番の冒襲でござ 何時に日の前へ氷のような双が突 をうばはれた老番が、気も観例の 見ると年格子があいてゐる。 雄 羅 清 敦 達 津 津 賀 雄海 満洲女 天草丸

本舗へ御注文を乞ふ本舗へ御注文を乞ふ 新式會和 山崎守國堂 東京師田花房町二

性眼病、ひえ寿。 性眼病、ひえ寿。 を性性を表、神器性内 を大きな、原性の を大きな、原体を表、神器性内 を大きな、原体を表、神器性内 を大きな、原体を表、神器性内 を大きな、原体を大力 を大きな、かんそう、悪性ニキビ、 かんそう、悪性ニキビ、 かんそう、悪性ニキビ、 かんそう、悪性ニキビ、 かんそう、悪性ニキビ、 がんそう、悪性ニキビ、 がんそう、悪性の を大きな、 を表して、 を表して、 ののののである。 を表して、 のののである。 を表して、 ののののである。 を表して、 のののである。 のののである。 のののである。 ののである。 ののでる。 のので。 ののでる。 のので。 のので。 ののでる。 のので。 のの

銀料理 10 家族的に御利用の程を…… 家族的に御利用の程を…… 閑靜で… 十人線以上の御宴會 は特に安く湖相談に 小鉢物色々 電話二七八三番

鶏の水たきは神理 话样自酒 聖光, 新湖

電話賣買

養設電話高價買入 金融月賦販賣 商品擔保貸付 (倉庫完備)

發賣數日に 御好評で御座い して非常な

に召した。 ふがかが するにうまい 最も皆様のお気 ます要う 艺云



(滿鐵特作映畵「風光百」主題曲 國歌行進曲 レコード

滿洲國

國產

・南は大連より北は脳ツ國境 の本体は何と云づても當分は があるな事業であり、而かもそ であり、而かもそ

御して新會社は大部分現在の 事築者たる滿電、滿洲國政府 其他現物出資によるもので株 式の公募は創立にあたりては これを行はず發起人設立の方 法によるものであるといふ、

格及ひ監容標の問題について 大統論を相常強力であつたが を発動の監督下に置くべしと云の 特殊環境より見て單に州内附 特殊環境より見て單に州内附 特殊環境より見て單に州内附 を の 高地の區域に非ず廣茫七萬方 の の 高地の の で あったが る の が の で あったが る の に の に の の に の の に の の の に の に の に の に の に の の に の の の の に の に の に の の に の に の の に の に の に の の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に の に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 の に の に 。 の に 。 に 。 に 。 に 。

代表理事 武安 福男

高橋貫一

の結成工作とい

一之を以て九年

月月日日 氣 天 入出入出 溫 氮

分分分分

壁

滿鐵々道部意向



買八共刊タ紙本

競行 所

新聞社

吉川商會

金金 傾狂

特加

二 一十 門 門 五 三 五 十 十 鏡 鏡 鎖 門

相限

n m m

問報行

A A A

之一一次

工事見張人

0

北鐵南部線 三割方引下られん

住民は舉つて侍堂

ブ

市資領

事

來京

父涉成立後の一大福音と

商民は界つて北鐵運賃引下げを要望してゐる關係上北鐵交涉成立は一大福音とつてゐた南部線の運賃は急轉直下的に三割引下げられる模樣である、尙ほ北滿(ヘルビン國通)北鐵交涉成立後高率な赤色運賃として內外商民の怨嗟の的とな 交渉の急速な成立を待望してゐる

の物價支佛に 照會殺

外務は日ソ貿易組合設置方針

「東京啤通」北鉄護波價格が クレデットの設置等も之を標定レソヴィエー・に對し鉄 會に具体化する主で對ソヴィエー・に對し鉄 會に具体化する主で對ソヴィエー・直流代表部 享受し得る組織が確立する。 「東京啤通」北鉄護波價格が クレデットの設置等も之を標を変換がある方法間で合せる 設けしめんとする方針の如く である、一方斗務省通商局で 小務省通商局でである。一方斗務省通商局でである。 である おけした 登泉財政会 である 「務省通道局で 別が確立する課 関上の可便を 直上の可便を シ細目こに 型れ 放管ると 信化る 化シ與へ以為改定率置益化シ與へ以為改定率置益 を上級道の情習となつて と上級道の情習となつて と上級道の情習となつて のの他に急激な影響を りさぬよう宮局者は最適 力するものと考へられ

感謝と羨望とを抱懐しは王道議洲國の治政に ジア民族主

明しないが現行率が改定さ 百餘のタタール中一部少壯派 下に開催された満洲木材園の政修を行ふものと假 満間を往來し全納二千のタタ 「安東國通」日瀬木材協會を見てもヤ;ドの改築等も 「ル人に飛機しアジア民族主 生れ事務所が安東の全論・ は、然し北韓間覧解決後貨 「ハイラル國通」過酸來トル 「流 ス 木 も るい、然し北韓間覧解決後貨 「ハイラル國通」過酸來トル 「流 ス 木 も るい、然し北韓間覧解決後貨 鮮滿各地方代表卅六名出席の 生れ其事務所が安東の全滿木 村語聯合會內に置かれる事と なつた、之は過數のルピンで なった。之は過數のルピンで

赤峰並に承徳衆務 俊

專任拓相設置問題

觀られ

(日)

伯支那政府の北郷護渡不承認

既に草案成り前記吳、

全滿電氣事業統制

性質より見て近く公布さるべ き吶國の電氣事業法により公 ・

し、十一月一日 社の株式り織一

が勢ある吉田大將が

安東電藥股份有限公司

吉田豐彦、孫微、

持谷陽二、

ド博士近く來京

であらうが、しかし當の変しれかつた、此上は善意に解したの絶意はよ

四の各場合軍も大損害を受け て續々後退中で形勢漸く重一 に重慶の人心動搖し外人を示 ふる同地の避難者續々當地に かる同地の避難者續々當地に

へきだ▼事こゝに至つては今 へ會でなされることになつて のると聞く、誠に悲壯といふ が族引揚の相談がけふ奉天の

日の態度がます

最後なぞゆめゆめ見せぬこ

いざやの場合、見苦し

入場料は高く

統制方針を体して經營せられ、 経事業として種々の特種は附 東皮られると共に事業特許の 財散命令その他により國家的

み出す豫定であるが、新會社 と同時に新しい合力を以て力

金藏、奥村慎文、谷川善次郎 泉光男、溫和、王聘光、岡村 泉光男、溫和、王聘光、岡村

方面観察の上入京の豫定でたてあるが十月初旬来滅、奉であるが十月初旬来滅、奉であるが十月初旬来滅、奉

ての立場があり、その立場

ることは必ず

必ずしも悪

かし長官の

の諸氏である

本出す豫定であるが、新會社 地五社聯合も満洲電氣事業に 地五社聯合も満洲電氣事業に 大なる熱意を見せて居る折柄

へ同團結成る

電業公司の誕生

る特性を有す

上のは全端の電化十を年計報 上のは全端の電化十を年計報 を選集開發の基本事業として を発々日程に上されつゝある今 を 持つものとして各方面から絶 大なる期待が有たされて居る

营口水道電氣株式會社 專務取締役 入江正太郎

司長 田中 府代表財政部

恭

社の發起人の氏名

大藏省發表

・知れない事を考ふれば軽々 こんな影響を一般に及ぼすか である▼その一擧一動が

年度歲出入

なつてる

大連商議の

(南京十八日 強用通) 南京政府外交部は北銭交渉の進展に 附外交部は北銭交渉の進展に 付 行日 り 勝駐在大使館 参賀 見 サ 行日 り 勝駐在大使館 参賀 見 か 変 表 成 気 高 し、 又 ジュネー ケ 雅外 殊人 民委員 長 り ト ヴィ ソ 野外 殊人 民委員 長 り ト ヴィ ソ 野外 殊人 民委員 長 り ト ヴィ ソ 電 大 で 新 ま で ま で ま で か

外務辭令(東京國通) にタタール全民族は此時福祉平等を蹂躙せり、依 務省離今

動せんがり

後裔たる彼等積年の理想 前に成吉思 てハルビン関通」プラゴエン 第犀氏は廿六日飛行機で黒河 海犀氏は廿六日飛行機で黒河 で部と事務打合せの無め新京 に向ふ豫定

公露の聯邦と化し吾等

情よりして十一月中旬以後と一世れい意向であるが諸般の事したい意向であるが諸般の事とれい意向であるが諸般の事となる。

を告白絶叫してゐるの毎に僞りない熟情の

不承認宣言發表か

南京政府交渉進展を惱む

來着を機に

結盟氣運濃厚

軌道の改修を行ふものと假物列車の直通を見る場合、

い、然し北鐵問題解決後資

日滿木村協會 【東京國通】臨時議會召集決 定前に東任新相設置問題は政 房育監督では短期的に必要で あるが、閣内にも陣容を整へ あるが、閣内にも陣容を整へ あるが、閣内にも陣容を整へ あるが、閣内にも陣容を整へ あるが、閣内にも陣容を整へ たるでは短期的に必要で は政府、陸軍間に復妙な關係 は政府、陸軍間に優妙な關係 は政府、陸軍間に優妙な關係 は政府、陸軍間に優妙な關係 は政府、陸軍間に優妙な關係 な持つてゐる故彙編の 儀臨む は政府、陸軍間に優妙な關係

き勝聚に専任拓相設置すると でれるかについて各方面より されるかについて各方面より 二日閣議で決定 日及期間

愈よ面視さる 政友會の

院 議で申し合せたか、大体の彼 一戦で四千の は する具体案は關係各省に於て 電に依れば、 東京鰻通 臨時議會に提案 【漢口廿八日

形勢益す重大化す

就き正式決定を見ることとなる、恐らく次の関議には(來月二日)右召集日並に期間に (來月二日)右召集日並に期間に **就き正式決** 徐向前の共産部隊 討匪軍を撃 が決定した

型 れた場合は十日頃となる模様 である 期は五日乃至

堀田公使に決定

於て急性肺炎の結果死去し

政友の硬化々々は飽きるほど

ることもならない▼大いものでうつかり物を

臨時議會召集即 關係各當局を訪問、今年と京中陸軍省、外務省其 月下旬 度他 以後か 十日となら 新スイス公使

組合聯合會臨時總會の成果で 其目的とするところは日滿木 材事情の研究にあり、換言す れば日滿木材ブロックの結成 れば日滿木材ブロックの結成

派ばれ支部は大阪と名古屋は木材聯合會長伊藤勘三氏のものである、尙初代會長

事務官警官 快諾を得た 0

ひて九月上旬より上京中であて北月上旬より上京中である。 が、
瞬頭にて左の如く語る
が、
瞬頭にて左の如く語る つた長尾民政部警察司長は 長尾民政部警務司 長歸來談

中に滿洲國官更として採用する警察官一千名、事務官 二十五名の派遣方を申請し でを容れ、幸にして當方の の回答を得た、右の如き多 数の人員を一時に採用する 事は困難だから三間位に分 中に滿洲國官更として採用する 事とならう 総ホテルに入つた、十九日駐 ・一後八時山庭闘より來津、常 ・一後八時山庭闘より來津、常 ・「大津廿八日愛國通」奉天特 のとして注目されてゐるであるが宮越事件に關するもであるが宮越事件に關するも

責任とはいふ 雲霄に入ら は除り感心し をして一般通 日滿 にして親日家ウッドワース氏であるが十月五日頃までに來 にして親日家ウッドワース氏れた事のあるカナダの政治家 滿入京の豫定である

4

対

西部水產大會 出席者一行

滿洲視察

自八十三萬九千圓の増加を見 開期に比較して總額に於て四 開期に比較して總額に於て四

讀高C聲

◀ずらとは傷巾♪

ってきものだ(九 ののことを忘れ が出設點 に接すべきものではず指導的態度 於 星浦競馬場 六(土) 十月七(日)

月二十二日ン は滿人に接す

八(月) 東日本並に北鮮一帶水産闘 本水産會の専四回大會は変ろ 二十九、三十日の兩日に亘つ で朝鮮水産會主催の下に清津

九月二九(土)同三〇(日) 同三〇(日) に於て開催されるが出席者 十五名は會終了後約二週間の 豫定で吉林、ハルビン、新京 塞天、安東の各都市を観察す ることになつた、尚一行の新

十数名の匪賊が現はれ、志敏 出警備除之を墜退したが騒員 一名(邦へ、姓名不詳)は胸 により吉林繁務段出動、負傷 により吉林繁務段出動、負傷

より十五キロ)の保線丁場に「吉林國通」七八日午前九時

肥原少將 順 天津着 延 時半より を正式招待を正式招待

Œ

で「假令臨時議會

塗水 滿 料性 洲

應

用化學研究所製品

ラ

卸

小

報次第四上)

を召集するとして

友會の要求によ

●價格低廉==剝落せず==美術的…●のレオソート代用品
「號二圓四〇銭二號二圓1〇三號一圓九〇銭
オーライト北海總代理店
オーライト北海總代理店
オーライト北海總代理店
カーライト北海總代理店
カーライト北海總代理店

時半よりローマ法王應ガツペ謝外交部大臣は廿八日午後六

午後八時過ぎ散會した出席盛曾裡に一同歌を鑑して出席盛曾裡に一同歌を鑑して 關係更に悪化し、場合によっ したそうである▼そこで裏内 したそうである▼そこで裏内 の 强硬論般然頭をもたばて政 の はである▼そこで裏内 敢て解散も辭せない

言学句を捉へて天下の大政黨がも知れないマが一大臣に、 安 食 堂

朝鲜、釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平嶼、鎮南浦、元山、清津、内、地、東京、大阪、大阪西區、神戸、下闕支店出張所及派出所

東二族通り三番地東二族通り三番地

· 朝鮮銀行新京支店日本銀行

遂に死亡す

り東邊道岫級を中心に反滿抗 日の匪軍を糾合して暴威を振 つて居た鄧鐵梅はその後昔日 の鷺を示し部下の籐順にも努 第一軍管區軍法處に於で腳順 の意を示し部下の籐順にも努 めて居たが綠林の勇士も送に となり御來奉天 曙町四丁目

では大臣たるもの 749

H

原、四平街、哈爾賓、傅家句、齊々哈爾、海拉爾、安東縣。龍井村、圖們大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天小西陽、錦州。赤峰、承德、織嵛。開新二三八九卷

がためし一度やつて見る

も出来

肚さへ出來れば戰爭

て、別にめづらし

. . . 金備取所 新京特 東亞興業株式會社新京出語特別市新發屯清和街第一〇一號 マパート 六十九圓)前 家平 家 七十七圓)前 家 新發屯清和街 三張五所 賃

勳正 六七 等位 引地寅治郎 京 15 五 九 二 =+

辯護·

KOMOWO WOMON

小茶棚子丁場に

匪賊來襲

開くスポ

健見に開會の解を

述べる鄭總理とテ

プを切る鄭總理

農安間バス開通で

、スト大警戒

証明所持者以外乘車させぬ

安東五龍背間の

自動車道

ニラの實母の許に逃げて行く をであり乍ら、四度目に結婚 をであり乍ら、四度目に結婚

氏の一

父親の財産そ

な彼女は船中朗かに語る 私の花婿はどうしてもアメ リカ人では見出せない、私 りカ人では見出せない、私 の性に合つてゐる人は歐洲 人ではイタリー、スペイン の人、東洋人では整當り支 那人かも知れません、然し 私の理想に合ふ人の見付か る迄旅行を續けます

社々長トーマス、マルピエルア州の百萬曼者ガルフ石油會

後女はベンシルバニ

はせたりしてゐた、金髪豐か翌日結婚して世間をアッと言

可長の閉會の際に會を了へ

後四時半西山總

超浮氣孃

大童の首都警察廳

いふ警察の證明

定である

計器公司

が、新京飛來は十日前後の豫一旦歸京、來る十月三日頃東

に高砂町に工場、倉庫を持ち 新京 永樂町の 本社でも新

【安東國通】豫て滿鐵安東地

本工事は窮民救済、治安維持豊が闘らずも一致した結果で

簡らされ

るものである

本朝鮮人 四七五、 女三二)

、女、二、OO三) 一、八七五(男一 一、八七五(男一

御用命は

超特急試運轉

きのふ大連發

奉天

七、七七九

路着工

きに設立した満洲計器股份

訪問飛行の壯途に上る事とな鑢は來る十月末三度目の東京

の女権飛行家マリー、イルズ

警部級も團結して

同列車には野中工作課長以下

午後四時四十分奉天着

十分大連霹靂奉天に向つたが

アジアは二十八日午前十時二(大連関通)試運轉の超特急

| ゼード其他の試験を行ひつ」| 旅客運轉關係者が立會ひ、スト

四筋會を組織

日午後四時荒別車で阿部中佐日午後四時荒別車で阿部中佐

海の歸順に大功勞を

昨日賑かに

を
らけ入京した

野

重苦しい空氣こざす新京署

機構問題對策

おは公署を訪れ本願幹部を始め各署長、幹部の意志を傳へ

市に於ける居留外人敷左の如

大正寺において行はれる、氏 が高田電外人敷左の如 が高田電外人敷左の如 が高田四時終に死去した、なほ 大正寺において行はれる、氏 大正寺において行はれる、氏 が高城は二十九日午後三時から 大正寺において行はれる、氏 が高城に一十八日 が高城に一十八日 が高城に一十八日 が高城に一十八日 が高城に一十八日 が高城に一十八日 がるにある。 大正寺において行はれる、氏

新京勝つ

四△對零で

本の外詳細は御來問を願ふ 者の外詳細は御來問を願ふ 新京東二條通四三番階上(蔣鐵醫院西) 海川 十月四日 本の外詳細は御來問を願ふ 新京東二條通四三番階上(蔣鐵醫院西) 流洲語學研究:社

る一方警部補が三筋會を組織

△日本人

なり四筋會を組織し益々强硬 したと同様警部は更に一丸と

災害義捐金募集の

同

チャックイヤー

富士町三ノーミ

朝日タクシー内フジ

右一一

嗣田商店精

映畵大會開く

愈よ今夜室町校で

店員採用廣告

住

消

愈よ本格式

ー、イルズ嬢

見るに至つたのは安東縣公署

最近漸次下火 金醫を常駐させ豫防を計 來月中に終熄か

(透方面に於けるベストは尚) 生課長は近く滿洲國當局と折として賞現せしむべく千種衛 衝を行ふ筈である

は來る二日午後四時三十分設 郎氏は二十八日各方面を懸訪 して離京の挨拶を述べた、氏 時した前新京商業學校長東一

近くお引越

長の開會の群に續いて帝制記一行を迎へ、先づ西山總務司

を なったが同會社は大連、 を本格的に事業を開始すること な本格的に事業を開始すること を対していまい。 率天に既に支店と製作工場を

便節一行を迎へて

日滿美術交驩

鄭總理、兩國提携を說く

美術交離を目的とする訪滿藝藝術使節一行を迎へ日滿兩國 兼攝文教部大臣、 後二時半より文教部會議室に 歡迎座談會は廿八日午

爵、前田、渡邊、小室諮闆伯等 東前校長 離京の挨拶

昨日の歡迎座談會 五十名出席、來賓たる岡部子山總務司長等を始め關係者約 交通部大臣、羅監察院長、

署會議室に集合、三十日奉時から同署警部補十一名は

で大會に出席した新京署の代
二十六日大連で開催された巡 全署學 直に報告會を開 0

吉林の

日本人口

【吉林國通】吉林省公署警務

班 表 四月廿三日 死刑の判決

(得點北滿九、陽東州四五、新京四·五、秦天三) 五、新京四·五、秦天三) 五、新京四·五、秦天三) 1 唐國仕(奉天、一六分三 五秒三)2 杉本精(北滿) 3 劉毛結(黑龍江)4 蘇貝 玉(闢東州)5 変文盛(闢 東州)5 変文盛(闢 東州)5 変文盛(闢 東州)5 変文盛(闢 東州)5 変文盛(闢

第三回体育大會第一日陸上載

毛老四克 爾英爾

B 組 一 着

滿洲帝國体育大會

一日の成績

雲 一 一 一 一 大 砂 二 大 砂 二 一 大 砂 二

四八秒

B組一着

高于也

ます

話

Ξ

商

崎

本前野磯氏(日本 ・ 日出生 ・ 日本 シ三女倘枝さん七月一義氏(白菊町三丁目三 一分死亡 一十七日

役員會を開き善後策に腐心 元 計(關東州)
一二四秒
世夫 利夫(北蔣)
世 延 褒(北蔣)
世 化 武(吉林)
二 化 武(吉林) A △ 女子三二 着六十 若 五 華(新京) 石 照(北滿)

A組一着 経過

トラック 奉天二三點、北 第二○點、関東州一三點 龍江六點、與安一點 電流一次點、與安一點 大一二點、關東州一二點 天一二點、關東州一一點 大一二點、關東州一一點 本天五點、關東州五點、 本天五點、

◆船木常蔵氏(常盤町三丁目十二號ノ二)長男恒美さん二十七日出生 二十三番地ノ三)五女マス 一十五番地)三)五女マス 一十五番地)長男恒美さん 十五番地)三)五女マス 一十五番地)長男恒美さん

自 並車オックスー 南海コースタ 附屬品車 新京大馬路五馬路南角

絶對他の追随を許さぬ!!

轉車特價 提

-コスター 付一台 **貳拾五圓以** 參拾五圓以上

MAKE NOX EXTREMONX BXXX BXXX BXXX BXXX BXXX BXXX B

統の調査防疫等に當つて居師をしてベスト酸生傳染の 右臨時機關はベスト

福岡と空の旅を續け

に白菊町四丁目の假塵舎に事新市街地の發展につれてさき 興安大路新廳舎へ で十月一日新廳舎に移轉し所町角に新廳舎が出來上つたの

務を開始さ

な出迎をなした後暑樓上で報 した、課頭には全署員が庭大 した、課頭には全署員が庭大 が揃はず

延球試合不能

李一世 明(奉天) 黄 大 善(新京) 夏 寶 林(陽東州) 于 希 谓(新京) 伊石(補洲國新記錄) 伊 包 夫(北灣) 于 翼 宗(奉天)

得點 表 高 高 高 高 音 本 音 任 午後の

紀町三丁目鮮銀横

はマから三笠町二丁目二番はツから三笠町二丁目二番はマから三笠町二丁目二番 三十二番地湖洲モータ開源氏(長崎縣)遼陽 昌藩町五丁旦三番地へ 昌郡町五丁旦三番地へ ら羽衣町二丁目四號ノ勘藏氏(千葉縣)大石

五六延允

▲西田昇氏(長崎縣)日出町 一丁目八番地大丸運送店へ ▲江口正一氏(長崎縣) 雨上 ◆菅原孝氏(長崎縣) 永樂町 三丁目十四番地へ 北策七十二號室、 北第七十二號室、 から山吹町興安寮十四 喜代松氏(茨城縣)四 一番地へ 一番地へ 一番地へ 一番地へ

の方御來談下さい多忙に付き至急二、

サロン 三名 クト 入用御希望

本方へ 本方へ 本方へ 本方へ 本方へ

女給募集

自筆履歴書持参本人來談る事市内ニ確實ナル保証人ヲ有スル本學力、中等學校卒業程度ノ者三名 -五所 若 積資立本 金金 横

億二千四百二十五圓 信圓金額拂込濟 京支 金 銀

斯行

支配人代理 ニ・九六ケ

大連、率大連、率大連、率大連、変大

借間 八疊間位 致シ度シ

簡易小口日掛貨附部開設 新京土地 建物 會 THA

電 新加

五

1

申込**八電話五二九二**(玉屋) 新日本音樂家三一才男

新京電話工業株式會社

橋 b 七 Ξ

新

京

H

電話用器具機械

話

交

換

目

直

な

店